

平成23年度上期決算・業務報告書を確定 監事からの監査報告書受理



理事十二名、監事三名(一名欠席)の出席のもと、七つの協議事項を審議した。協議内容並びに結果は次のとおり。

協議事項

協議一
**平成二十三年度上期仮決算と
上期業務報告書の確定**

▼去る十一月五日開催の第八回理事会決議を受けて、「平成二十三年度上期業務報告書」を十一月八日付けで監事会に提出し、監事会では十一月八日から十一日迄の四日間に亘り定期監査が行われ、平成二十三年度上期の業務執行状況並びに上期業務報告書の記載内容にかかる関連証憑書類の照合精査と確認が行われた。

▼この結果「重要な指摘はない」として、監査が終えられたところであり、「平成二十三年度上期業務報告書」をもって、平成二十三年度上期の仮決算並びに業務報告書を確定することを決定した。

▼上期の財務状況は、平成二十三年六月に開催した通常総会で承認を得た利益準備金一千六百五十万円の繰り入れと任意積立金一千四百九十三万八千円

を積み増し、内部留保に伴う自己資本の充実を図り、純資産の合計額は十一億五千万円。

▼収支状況は、計画に対して順調に推移し、事業利益は二億千八百七十四千円(前年対比一一〇・四%、計画対比一〇九・一%)で、事業管理費一億八千七百八十八万八千円(前年対比一一・六%、計画対比九七七・八%)、税引前上期利益は三千五百九十七万七千円(前年対比一〇九・四%、計画対比二六八・七%)と前年度を上回り、事業計画に沿った取り組みを行った。



(11/8～11 定期監査の様子)

協議一

監事から提出の監査報告書の受理



十一月十一日
監査講評する池田代表監事

▼平成二十三年度の組合の業務執行状況等に関する定期監査が行われ、理事会宛に監事から「平成二十三年度上期監査報告書」が提出され、この受理を決定した。

協議二 平成二十三年下期内部監査計画の策定

▼平成二十三年度の下期内部監査計画案を策定し、内部監査規程第十二条に基づき理事会での承認を決定した。主な内容は内部統制及び中期計画の進捗状況等。

協議四

就業規則の一部変更

▼育児・介護休業法の改正や内部監査における就業規則の見直し指摘を踏まえ、就業規則の一部変更を提案し、具体的審議を図るため、総務委員会への諮問を決定した。

協議五 「3M事業」にかかる乳用牛現地買い付けの費用弁償に伴う諸規程の一部変更

▼第八回理事会において、「非常勤理事により『3M事業23』の乳用初妊牛直接買い付けに伴う酪農ヘルパー一名派遣利用経費相当額の組合負担について」を議案上程し、一日当たり酪農ヘルパー事業運営規定第九条第三項に定める別表八の業務内容③における定期利用料金相当額(現行一万六千円)を組合負担として支払うことを決定したところであるが、この費用弁償にかかる関連諸規程の一部変更を決定した。

▼関連諸規程は、①生乳需要期対応酪農経営向上対策事業実施要領、②旅費規程、③役員及び委員の参集旅費に関する規程の三つ。

協議六

3M事業23の借入申請にかかる事業規模変更

▼第八回理事会において事業規模頭数を二百一頭と確定したところであるが、組合側で組合員一名からの申請頭数五頭の利用申請の集計誤り、加えて、以後、組合員一名から飼養頭数に預託牛帰着を加味せず申請したことから、三頭の申請取り下げによる頭数変更が生じた。

▼その結果、当初の計画頭数二百頭となり、これをもって事業着手することを決定した。

協議七

職員に対する年末手当の支給

▼支給額、支給時期、支給方法を組合長一任決定した。

報告事項

- 一 上期内部監査の結果
- 二 地区懇談会の開催
- 三 役員合同研修会並びに親睦交流会の開催
- 四 ホームページのアクセス状況
- 五 不良債権処理
- 六 子会社山陽乳業(株)の最近の経営状況
- 七 平成二十三年度生乳計画生産の進捗状況
- 八 中国生乳販連傘下会員の生乳検査成績(十月)
- 九 3M事業開始以来の事業参加利用状況
- 十 リース事業の事務取扱い

